

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	4	運営推進会議で参加者からの提案や意見	運営推進会議を通して、地域とのかかわりをつなげていく。	運営推進会議参加者に話題をもちかけて意見をうかがう機会をつくる。	6 か月	
2	35	夜勤帯の災害の想定での訓練ができていない。	夜勤帯の災害に備えた訓練を行う。	夜勤の時間に災害発生した場合の連絡方法、入居者の避難方法の訓練を行う。	2 か月	3月4日に夜間に災害を想定した訓練を予定している。
3	49	重度化した入居者の外出支援が少ない。	重度化した入居者の気分転換をはかる機会をつくる。	天気や気温を考慮しながら、日光浴や敷地内の散歩の時間をつくる。	3 か月	天気のいい日には、リビング内の陽のあたる場所での日光浴を実施している。
4					か月	
5					か月	

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		(該当するものすべてに 印)	
1	サービス評価の事前準備		運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
			利用者へサービス評価について説明した
			利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
			運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
			その他()
2	自己評価の実施		自己評価を職員全員が実施した
			前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
			自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
			評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
			その他()
3	外部評価(訪問調査当日)		普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
			評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
			対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
			その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開		運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		3月中旬	利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った 3月13日「家族会」で行う。
			評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		3月末	運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った 3月20日に行う予定・
			その他()